

【2026 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
発達心理学		(リ) 選択 (人-25) 必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾	B305	Atakiguchi	水曜日 11:40~12:40		
授業の目的・概要	<p><目的>発達心理学の諸理論を学び、生涯発達の見点から乳幼児期から高齢期まで各発達段階特有の身体的・心理的特徴を理解し、現代社会において人間が直面する課題について考察することを目的とする。発達心理学に基づく人間理解を通して他者との良好な関係性を学び、社会に貢献できる人材を目指すことを目的とする。</p> <p><概要>人が生まれてから死ぬまでの、身体的、認知的、社会的な変化とそのメカニズムに関する理解を深めるために、個人ワークやグループワークなどの演習を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	人の成長・発達の過程を学ぶことは人を理解するための基本である。自分自身や身近な人をイメージしながら積極的に授業へ参加することが望ましい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	問いからはじめる発達心理学/著:坂上裕子他/有斐閣ストゥディア エピソードで学ぶ乳幼児の発達心理学/著:岡本依子他/新曜社				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人を尊重し深く理解しようとする態度を身につけることができる。			HSU(1)、HC(1)、(3)	
②	発達心理学の諸理論及び各発達段階における特徴を理解し、説明できる。			HSU(2)、HC(5)	
③	各発達段階における人間関係の基本的な知識について理解し、説明できる。			HC(5)	
④	社会の変化によって生まれる人間関係を巡るさまざまな課題について理解し、考察できる。			HC(3)、(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 発達心理学とは何かについて学ぶ。	講義・演習	授業内容を復習し、課された課題を完成させる。	4	
2	人として生きるということ～発達段階、発達課題について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
3	発達するとはどういうことか～生涯発達の視点について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
4	生命の芽生えから誕生まで～出生、胎児から始まるコミュニケーションについて学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
5	見て・さわって・感じる～ピアジェの発達段階について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
6	他者との関係性を築く～社会性、親子関係について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
7	「いま」「ここ」をこえて～言葉と遊びの発達について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
8	自分を知り、自分らしさを築く～自己の発達について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
9	関わり合って育つ～きょうだい、仲間関係、感情の発達について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
10	考えるということ～思考の発達について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
11	子どもからの卒業～青年期について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
12	成熟した大人になる～成人期について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
13	人生を振り返る～高齢期について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
14	発達は十人十色～発達の多様性について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
15	総括を行う。	講義	これまでの授業内容を復習する。	4	

【2026 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

試	定期試験は行わない。 達成度評価・評価のポイントを参照		
---	--------------------------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	50	0	0	50	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	5	15
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	5	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	5	15

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
レポート	①	✓	レポートを提出する。授業内容を理解しているか、自分で考えたことを自分の言葉で書いているか等で評価する。テーマは授業中に伝えることとする。	レポートはコメントを伏して返却する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	毎回授業の終わりにリアクションペーパーの提出を求める。授業を通して理解したこと、ワークを実施してみて感じたこと等について書いてもらう。ワークへの積極的な取り組みも併せて評価する。	次回の講義の始めに、前回のリアクションペーパーについてのコメントし解説する。ワークについては、実施後コメントを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	教育相談室及び発達支援、クリニック等での現場経験があり、臨床心理士及び公認心理師として 25 年の臨床経験を有する。
実践的授業の内容	専門性と現場経験を活かして、発達心理学に関する基本的知識を分かりやすく教授する。
そ の 他	生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。